

理事長・学校長 殿

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

理事長 福田 益和

公
印
省
略

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

～学生のキャリアを効果的に支援する～

令和5年度 キャリア・サポーター養成講座 開催のご案内

○職業実践専門認定要件(企業等と連携して、教育に対し、実務に関する研修を組織的に実施)に対応！

○教員の教育力向上に寄与！

○都道府県支部や学校単位で講座を開催できます！

文部科学省「専修学校の質保証・向上に関する調査研究協力者会議」においても、専修学校における質保証・向上がますます求められています。また、学生には将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。学生のキャリア支援を充実させるため、今一度、教職員のキャリア・サポートマインドの養成が重要です。

教職員の方々が学びを止めず、「キャリア」について研鑽していくことは教育力向上にもつながります。本養成講座を通してその有効性をぜひ感じてください！

また、8名以上がまとまって受講される場合、各校・地域で実施することをご検討いただくと、効果的に実施することができます。学校・法人単位で行うことで、組織内の教職員間の良好な関係構築にも寄与できる講座となっています。

キャリア・サポートとは学生・生徒が自分自身のキャリア(仕事に関わる人生)を
主体的に設計・選択・決定できるように支援すること

本講座は、キャリア・サポートを推進するために、教職員が持つべき態度や姿勢・考え方を養成する独自のプログラムで行われる研修です。開講20年目・全国で約1,500名のサポーターが活躍しています。

【お問合せ先】

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団<略称:TCE財団>

(Association for Technical and Career Education)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館

TEL:03(3230)4814 FAX:03(3230)2688

目的

学生・生徒の職業観の醸成、職業人生の考え方などを側面支援し、学生・生徒自身が自立的に取り組み、決定していくために、教職員に必要とされるマインド(態度や姿勢・考え方)や能力を養成することを目的とします。

特徴

アクティブ・ラーニングの応用により、少人数のグループワークで、「主体的・対話的で深い学び」から多くの気づきを得ることを特徴としています。様々な学校の教職員の方とともにグループワークをすることで、学生に対する心構えやコミュニケーションの方法を学び、講座修了後に実践できる「腑に落ちる研修」・「実践できる研修」です。

資格認定

3日間の全プログラムに参加して、条件を満たせば「キャリア・サポーター」として認定されます。

全体プログラム（予定）

キャリア・サポーター養成講座では、3日間の研修でキャリア・サポーターとしての心構え、および手法を身につけます。知識として身につけるだけでなく、キャリア・サポートを実践できるためのプログラムです。

1日目 学生の現状を受け止め「キャリア」について理解します。

- 1 講座オリエンテーション
- 2 若者を受け止めよう
 - (1) デモンストレーション シェアリング
 - (2) 学生の現状点検 グループワーク
- 3 仕事、キャリア、キャリア開発
 - (1) 私の履歴書 シート作成 シェアリング
 - (2) 仕事の根っこ シート作成 シェアリング
 - (3) なぜ働くのか シート作成 シェアリング



2日目

「自己理解」を通して、個性に合った支援のやり方を学びます。

- 1 キャリア・サポートのためのコミュニケーションスキル
 - (1) 基本態度 実習
 - (2) 学生とのコミュニケーション ロールプレイング

- 2 自己理解の促進
 - (1) 自分らしさの気づき
 - (2) キャリア・アンカーの考察 自己チェック
 - (3) エゴグラムによる自己分析 自己チェック
 - (4) 検査フィードバックの留意点
 - (5) ライフ・キャリア シート作成 シェアリング



3日目

「仕事理解」で職業選択のやり方を選択し、学内での支援方を考えます。

- 1 仕事理解とキャリア・ガイダンス
 - (1) 職業興味と職業選択 実習 シェアリング
 - (2) 職業興味検査(VPI)の考察
 - (3) 仕事理解とキャリア・ガイダンス

- 2 キャリア・サポートの姿
 - (1) どうするキャリア・サポート グループワーク
 - (2) 実践を誓って 相互コメント

- 3 全体を振り返って



※事情によりプログラムは時間変更することがあります。
※受講終了後のレポート提出が、修了要件となっています。

実施要項

【1. 日程】

第1日目 令和5年8月2日(水) 10:00~18:00

第2日目 " 3日(木) 9:00~17:00

第3日目 " 4日(金) "

※講座初日のみ開始・終了時刻が異なります。ご注意ください。

※グループワークを中心とした内容となります。また、修了要件にもかかわりますので、全日程を通じての参加をお願いします。部分参加、日程途中からの参加者変更はご遠慮ください。

【2. 場所】

主婦会館プラザエフ 8階 スイセン

住所: 東京都千代田区六番町15

URL: <https://plaza-f.or.jp/>

【3. 定員】

原則として、24名までとさせていただきます。

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

※申込が8名未満の場合、中止とさせていただきます場合があります。

【4. 受講資格】

次の①または②いずれかの要件を満たす方。

①本財団が認める職業教育・キャリア教育機関の教職員で且つ当該機関の長が推薦する方(非常勤及び就任予定者を含む)

②上記以外の教育機関の教職員で学生・生徒のキャリア教育やキャリア支援に携わっている方。

【5. 受講料】

TCE 財団の都道府県支部会員校・・・1名62,000円

上記以外・・・1名96,000円

(共に教材費を含みます。)

送金口座等は、お申込み受付時にお知らせします。

※移動に伴う交通費・宿泊費は含みません。各自でお手配願います。

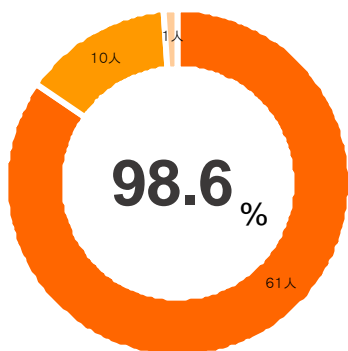
※「TCE 財団の都道府県支部」は、本財団 HP の「名簿等」にてご確認ください。

令和4年度 受講者からの声をご紹介します



毎年、教職員どちらの方々にもたくさん受講いただいているキャリア・サポーター養成講座。現在全国で約1,500名のキャリア・サポーターが活躍中です。令和4年度に新たに認定されたキャリア・サポーターへ、講座(4会場で開催)のアンケートを行いました。その一部をご紹介します。

01 講座全体の評価について

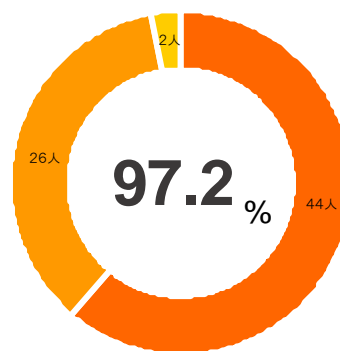


講座全体の評価は、「大いに役立った」、「役立った」と回答した方は、98.6%！大変ご好評いただいております。

令和4年度 受講者(72名)アンケートより

大いに役に立った 役に立った
あまり役に立たなかった まったく役に立たなかった

02 他の教職員にも講習を勧めたいか

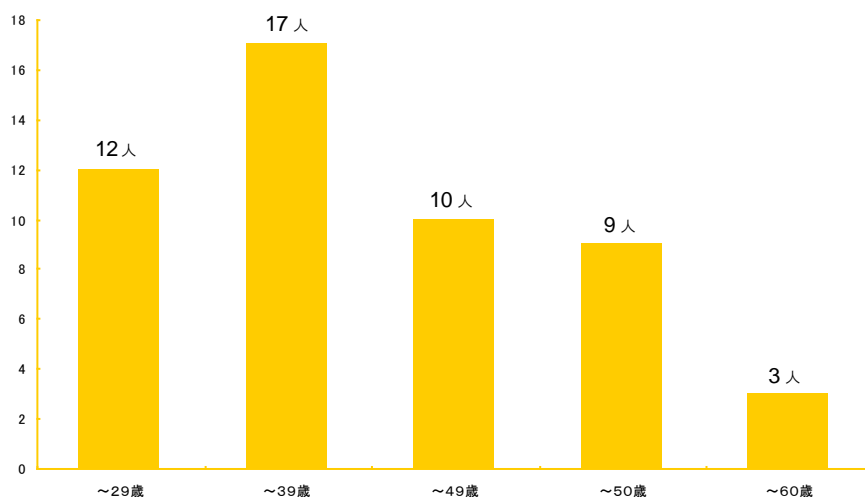


他の教職員にも勧めたいと答えた人は、「大いに思う」、「思う」を合わせると97.2%！ぜひ多くの教職員の方のご参加をお待ちしております。

令和4年度 受講者(72名)アンケートより

大いに思う 思う
わからない 思わない

03 受講者の年齢層



20代から60代まで、幅広い年齢層の方々に受講していただいています。グループワークなどを通して、様々な角度、考え方の人と意見交換できたことがとてもよかったとの声も聴かれています。

令和4年度 受講者(51名)アンケートより

04 受講者からの感想

養成講座に参加して、キャリア・サポートの重要性について、多くの学びを得ることができました。特に、グループワークが中心だったので、メンバーからの具体的なアドバイスや事例の話を、分野を超えて共有することができました。



学校に戻ってどのように教職員・学生に返していけるのかを考えながら受けていましたが、全てが持ち帰って実践していきたいと思える内容でした。



他の参加者の方と問題や課題を共有でき、また、それについて話し合うことで皆様のキャリアを知ることができました。また、自分自身を見つめ直すことで、様々な発見や気づきがあり、有意義な時間を過ごすことができました。



どの項目においても、すぐに実践したくなるような内容でした。グループワークに苦手意識を持っていたのですが、いざ始めると、自然と率先して活動してしまうほど、参加しやすかったです。



キャリアコンサルタントの資格に挑戦しようか迷っているときに、この研修を案内していただきましたが、参加してよかったです。



自身の「できていないところ」だけではなく、「良いところ」も知ることができる貴重な機会でした。「できていないところ」、「学んでいかなければならないこと」を常に忘れず、これからも学生の幸せや成長をサポートしていけるよう精進していきたいです。



キャリアコンサルタントの資格を取得後、改めて3日間キャリア教育に関する講習を受講できて再確認できたことや新たな気づきもあり、このような機会をいただいたことに感謝したいです。



教員ではないが、とても学びが沢山あった3日間でした。聴くと言うこと、価値観を押しつけない事を意識し継続していきたいと思えます。



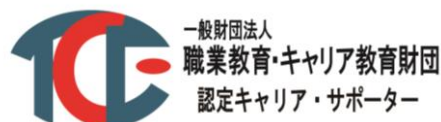
いつも教員としての立場で物事を見て判断しがちだったと感じました。立場を変えて考えると見方も変わる。見方が変わると接し方も変わることの意味をグループワークを通して感じました。また自分自身のキャリアについても見つめなおす機会になりました。



～受講者アンケートからの抜粋～ ※事務局により一部編集

名刺・広報などに活用できる認定ロゴマーク

受講後、レポートを提出し、キャリア・サポーターとして認定されると、「認定ロゴマーク」をご利用いただけます。ぜひ、学校の広報や名刺等にご活用ください。



都道府県支部や学校単位でも講座を開催できます

学校法人や都道府県協会等の主催による、キャリア・サポーター養成講座も実施することができます。学校・法人単位で行うことで、組織内の教職員間の良い関係構築にも寄与できる講座となっていますので、ぜひご検討ください。

【学校主催の講座の流れ】



1. 講座を立案し、財団事務局へ事業計画案を提出

受講料・講師謝金等の設定を含む事業計画案を、講座実施一ヶ月前までに財団事務局へご提出していただきます。

※「受講料」は、主催者団体で設定できます。なお、財団事務局へ支払う審査及び認定・登録料は11,000円です。
※講師謝金は原則として税込210,000円です。

2. 受講者を募集し、受講料を徴収

受講者の募集と、受講料を徴収してください。なお1講座あたりの受講者数は、原則として8名以上24名までとします。

3. 講座を運営、講師謝金の支払い

養成講座カリキュラムに基づき、21時間(1日7時間×3日間)実施してください。キャリア・サポーターとして認定されるためには、認定トレーナーによる講座21時間の全課程受講が必修です。連続する3日間、または1日目の開講から3週間以内に全課程を終了する日程で実施していただく必要があります。備品(文房具等)及び副教材は、都道府県協会・学校法人等で準備してください。

主な副教材:「キャリア・アンカー I セルフ・アセスメント」(1冊838円×人数分)
「VPI 職業興味検査」問題・回答用紙(20名分セット11,000円程度)

4. 受講者レポートの提出

全課程履修後、受講者「課題レポート」・「アンケート」を取りまとめ、財団事務局へ提出してください。「課題レポート」「アンケート」の内容、取りまとめ方法は、財団事務局から連絡します。

5. 審査及び認定・登録料の支払いと認定書の送付

キャリア・サポーター審査及び認定・登録料(1名につき11,000円)を本財団にお支払いいただきます。審査を経て本財団がキャリア・サポーターを認定した方には、本財団から主催団体に認定証を一括してお届けします。

6. 計画策定をお手伝いします

講座の開催について何かございましたら、下記までお気軽にご相談ください。

<お問合せ先>

〒102-0073

東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館11階

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

総務課 藤井・佐久間

TEL:03(3230)4814 e-mail:fujii@sgec.or.jp/sakuma@sgec.or.jp